

各位

## 第12回「日本新薬こども文学賞」 最優秀賞作品決定

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信 以下、当社）は、第12回「日本新薬こども文学賞」において、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む16点の入賞作品を決定しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て、当社創立90周年にあたる2009年に創設したものです。

12回目となる今回は、昨年11月から今年2月まで物語と絵画を募集し、全国から物語1,173点、絵画277点の作品が寄せられました。



絵画部門最優秀賞「夜の森へ」

[画像のダウンロードはこちら](#)

応募作品は、絵本作家の山本省三氏、かさいまり氏、京都精華大学名誉教授の坪内成晃氏、小児科医の細谷亮太氏他3名、計7名からなる審査員によって厳正に審査され、物語部門最優秀賞は、梶田向省（かじたこうせい）さん（11歳：長野県在住）の「十二支は大変です」が、絵画部門最優秀賞には、花原淳子（はなはらじゅんこ）さん（61歳：大阪府在住）の「夜の森へ」が選ばれました。

絵画部門では、本審査とは別に、当社の社員による投票を実施し、岸千裕（きしちひろ）さん（21歳：東京都在住）の「雨の日の演奏会」、植出美桜（うえでみお）さん（12歳：滋賀県在住）の「春のおとずれ」の2点を「日本新薬特別賞」として選出しました。入賞者には、10月に京都市内で開催を予定する表彰式で賞金等を贈呈いたします。

当社では、最優秀賞を受賞した物語をもとに、絵画部門の最優秀賞を受賞した花原淳子さんが絵をつけた絵本3万冊を制作し、今年10月の完成を目指します。

出来上がった絵本は、全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広く子どもたちのもとに届けられるほか、当社のWEBサイトでも閲覧できる予定です。

## 第12回「日本新薬こども文学賞」受賞作品一覧

物語部門および絵画部門の各入賞作品および作家は、以下の通りです。

【物語部門最優秀賞】 梶田 向省 『十二支は大変です』

昔話の形を取りながらも、塾や習い事で遊びの時間がとれない現代の子どもたちの気持ちや、ワークシェアリングの考えなどが描かれており、盛り込まれているテーマが、まさに今であることに驚かされる作品です。

大人顔負けの内容が各選考委員からも絶賛され、最優秀賞を受賞しました。

【絵画部門最優秀賞】 花原 淳子 『夜の森へ』

個性豊かな生き生きとした動物たちの顔の表情が楽しめる、躍動感のある微笑ましい作品です。

部門	賞	作品名	氏名（ペンネーム）
物語部門	最優秀賞	十二支は大変です	梶田 向省
	優秀賞（大人の部）	ねこの手をかりる	南波 はんな
	佳 作（大人の部）	おもしろおばけ	瀬野 美保
		痛い、痛い、飛んで行け	田川 友江
	優秀賞（こどもの部）	くまのすむまち	山口 葵依
	佳 作（こどもの部）	銀ネズミ	幾多 愉希
		まゆ毛が家出した!!	佐野 陽
	絵画部門	最優秀賞	夜の森へ
優秀賞（大人の部）		月明かりの出会い	Nikolas
佳 作（大人の部）		じいちゃんとイモほり	マミコ
		はねるはひるのつき	杉本 千佳
優秀賞（こどもの部）		龍宮の使い	糸田川 裕雅
佳 作（こどもの部）		大きい魚と小さい魚	海老原 敬慈
		おかしちょうだい!	佐々木 春佳
日本新薬特別賞		雨の日の演奏会	岸 千裕
		春のおとずれ	植出 美桜

当社 WEB サイト (<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>) にも掲載しております。

以上